

## 第4章 滝尾駅前広場整備基本計画

---

1. 滝尾駅前広場の整備計画
2. 滝尾駅前広場の配置計画
3. 基本計画図
4. 計画実現に向けて

## 1. 滝尾駅前広場の整備計画

### 1-1. 滝尾駅の将来利用者数の推計

現状のJR滝尾駅の乗降人数は752人(2019年度)ですが、今後の人口動向、大分市人口ビジョンによる推計値、住民基本台帳を基にした滝尾・森岡校区の人口推移、駅勢圏の人口動向およびまちづくりの動向などを踏まえた結果、2045年(令和27年)には乗降人数は現状と同程度の760人程度になると推計しています。

現状値:752人(2019年度)<sup>※6</sup> ⇒ 推計値:760人(2045年度)

※6 2020年度以降はコロナ禍の影響で乗降人数が減少しています。そのため、コロナ禍以前の2019年度の乗降人数を現状値として設定しています。

### 1-2. 滝尾駅前広場の交通空間に最低限必要な施設規模

前項で設定したJR滝尾駅の将来利用者数から「(1)パーソントリップ調査」「(2)交通量調査」「(3)大分市内の鉄道駅の事例」などを参考にして算出した施設の必要規模を比較し、滝尾駅前広場における最低限必要な施設規模を設定します。

	①バス 乗降場	②自家用車 乗降場	③タクシー 乗降場	④自家用車 短時間駐車場	⑤駐輪場 (自転車・バイク)
滝尾駅の現況	0	0	0	0	105
(1)パーソントリップ調査	0	4	0	16	62
(2)交通量調査	0	2	0	0	112
(3)市内の鉄道駅の事例	0	1	1	4	111
<b>最低限必要な 施設規模</b>	<b>1</b>	<b>4</b>	<b>1</b>	<b>4</b>	<b>111</b>

## 1-3. 滝尾駅前広場の導入施設

将来の駅利用者推計を基に算出された施設規模や、地元会議・ワークショップでの意見を踏まえて、以下の施設を導入します。

### (1) 交通空間に導入する施設

#### ■ 交通結節機能

##### ① バス乗降場 → 1台

現在、JR滝尾駅周辺には路線バスが運行されていませんが、「たきおコミュニティバス」の運行状況(1時間に1台程度)を基に、1台分の乗降スペースを設けます。

##### ② 自家用車乗降場 → 4台(障がい者用1台含む)

パーソントリップ調査の結果を基に、4台分の自家用車乗降場を設けます。

##### ③ タクシー乗降場 → 2台

市内の鉄道駅の事例を基に、2台分の乗降場(乗車および降車スペース 各1台)を設けます。

##### ④ 自家用車短時間駐車場(自動車整理場) → 4台

市内の鉄道駅の事例を基に、4台分の自家用車短時間駐車場を設けます。  
なお、必要に応じて、有料化を含めた目的外利用の防止対策を検討します。

##### ⑤ 駐輪場(自転車・バイク等) → 120台

市内の鉄道駅の事例を基に、111台分の駐輪場を確保します。さらに、既存の駐輪場では区域外の駐輪が見られることから、120台の駐輪スペースを設けます。

### (2) 環境空間に導入する施設

#### ■ 交流機能

##### ① 多目的に利用できる広場

イベント等多目的に利用できるスペースを設けます。舗装の種類については、維持管理のしやすさを考慮して選定します。

##### ② 休憩施設(ベンチ・あずまやなど)

日常的に集い・憩うことのできるベンチやあずまやなど、広場のスペースに応じた規模の休憩施設を設けます。

### ■ 景観機能

#### ① 緑化などによる修景施設(樹木など)

広場やオープンスペースについては、緑化することで修景を図ります。また、配置する施設については、滝尾駅周辺地区の地域性に配慮したデザインとします。

### ■ サービス機能

#### ① 案内板・サイン(歴史・地区の案内など)

滝尾駅周辺地区の歴史や文化などの情報を発信するため、案内板を設けます。

#### ② 公衆電話

現状にある公衆電話を活用し、必要に応じて再配置の検討を行います。

#### ③ 公衆トイレ

JR滝尾駅周辺には公衆トイレがなく、駅および駅前広場の利用者の利便性の向上を図るため、公衆トイレを設けます。規模については、利用者に応じた大きさとしします。

また、公衆トイレの配置については、JR九州の所有地を含めて検討するものとしします。

#### ④ 給排水設備

イベント等、柔軟な空間利用が可能となるよう、給排水設備を設けます。

#### ⑤ 電気設備

イベント等、柔軟な空間利用が行えるよう、電気設備を設けます。

### (3) その他(導入の検討を行う施設)

#### ① 防犯カメラ

防犯カメラの設置については、今後の広場の利用状況に応じて、検討するものとしします。

## 2. 滝尾駅前広場の配置計画

駅前広場内の施設配置は、交通結節機能や交流機能などの導入施設を配置するとともに、「駅前広場の整備ポイント」を踏まえ、利用者の利便性を考慮した配置を行います。

### 《駅前広場の整備ポイント》

#### ■ 交通空間の整備ポイント

- 段差を解消し、バリアフリー化された安全で快適な歩行空間を整備する。
- 自家用車、タクシー、バスへの乗り換えのための乗降スペースを整備する。
- JR滝尾駅への送迎車両の待機スペースを整備する。
- 大型車両が通行できる車両通行路を確保する。
- 大型車が広場内で旋回できるスペースを確保し、ロータリーを計画する。
- 乗降スペースは、駅改札から近く、わかりやすい位置に配置する。
- 障がい者用乗降スペースは、駅に近い位置に配置する。
- 歩道の幅員は、歩行者が安全に通行できる十分な幅員を確保する。

#### ■ 環境空間の整備ポイント

- 日常的な憩いやイベントなど、多目的に利用できる広場空間を確保する。
- 緊急時に一時的に避難できるオープンスペースを確保する。
- 広場スペースに応じたベンチやあずまやを整備する。
- 夜間でも安全に利用できる照明設備を整備する。

(1) 滝尾駅前広場の空間配置

交通結節機能を担う「交通空間」と、都市の広場としての役割を担う「環境空間」を、以下のよう



図-4.1 駅前広場の空間配置

(2) 車両の動線計画

車両の動線は、(都)滝尾駅前線からの流入・流出を主要な動線とし、駅前広場内を右回りの一方通行のロータリー形状とします。既存道路の車両動線については、環境空間の利用形態や周辺住環境を考慮した動線とします。



図-4.2 駅前広場の車両動線

### (3) 歩行者の動線

歩行者の動線は、(都)滝尾駅前線とJR滝尾駅をつなぐ線を主要な動線とし、自家用車、バス、タクシーの待機スペースなどの滞留空間と交差しないように配置します。



図-4.3 駅前広場の歩行者動線

### 3. 基本計画図

滝尾駅前広場の整備計画および配置計画に基づき検討した基本計画図を下図に示します。

この基本計画図では、駅前広場への交通集中を防ぎ、安全な空間を確保するため、接続道路を主要動線である(都)滝尾駅前線のみとし、市道津守・富岡線などの既存道路から流入する交通を調整することを理想的な形として示しています。既存道路から流入する交通の調整については、「4. 計画に向けて」にて記述します。

また、ベンチや植栽、公衆トイレなどの環境空間に導入する施設の具体的な配置については、今後の基本設計や詳細設計でJRなどの関係機関との協議を通じて決定することとしています。

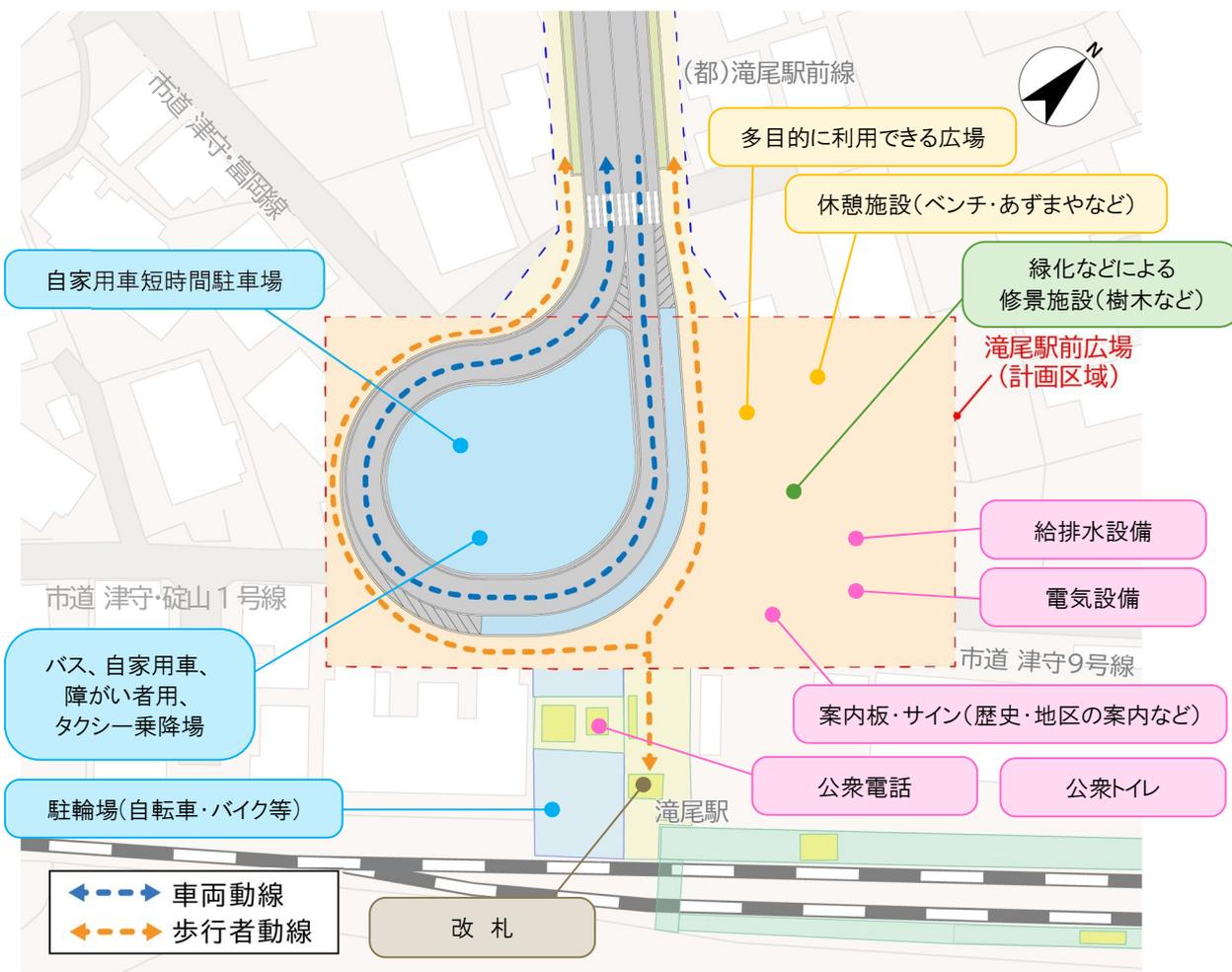


図-4.4 基本計画図

交通空間	環境空間
バス乗降場	多目的に利用できる広場
タクシー乗降場	休憩施設 (ベンチ・あずまやなど)
自家用車乗降場	緑化などによる修景施設 (樹木など)
障がい者用乗降場	案内板・サイン (歴史・地区の案内など)
自家用車短時間駐車場	公衆電話
駐輪場 (自転車・バイク等)	公衆トイレ
	給排水設備
	電気設備

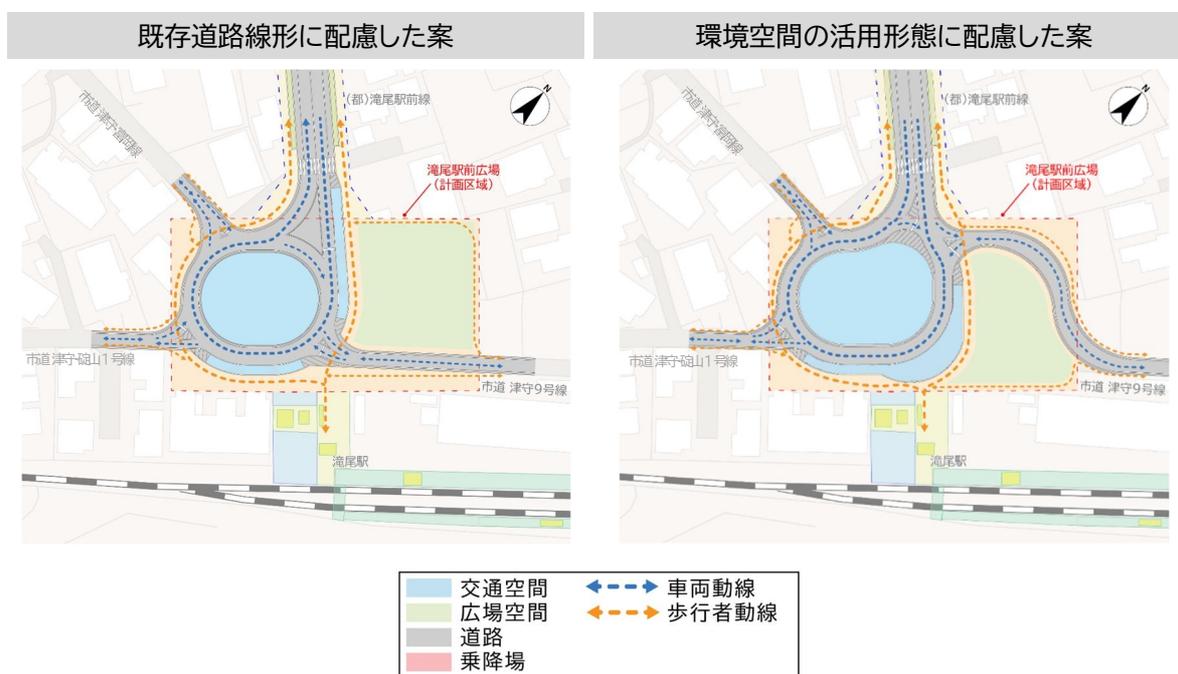
## 4. 計画実現に向けて

滝尾駅前広場計画区域には3つの既存道路が接続しており、駅前広場への交通集中を防ぎ、安全な空間を確保するため、既存道路から流入する交通を調整する必要があります。

なお、駅前広場への交通調整については、滝尾駅前広場および(都)滝尾駅前線の整備手法と関連があるため、今後、整備手法と併せて検討する必要があります。

参考として、既存道路を駅前広場に接続した場合の案を下図に示します。

### 【既存道路の接続方法（参考図）】



長所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広場の形が良く、面積も広くとることができる。</li> </ul>	長所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅利用者が道路を横断せずに広場を利用することができる。</li> <li>・ 市道 津守9号線の線形を見直すことで、通過交通量や速度の抑制ができる。</li> </ul>
短所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅利用者が広場を利用する場合は道路を横断する必要がある。</li> <li>・ 市道 津守9号線の見通しが良くなり、通行速度があがるなどの懸念がある。</li> </ul>	短所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域住民が広場を利用する場合は道路を横断する必要がある。</li> <li>・ 広場の形がいびつであり、道路に囲まれるため、施設配置等に課題がある。また、面積も狭くなる。</li> <li>・ 複雑な交差点ができる。</li> </ul>

